

【 選 択 科 目 】

道 路

【 問 題 例 】

I - 1

近年の交通事故の特徴と課題を列挙するとともに、今後の交通安全対策のあり方について記述せよ。

【 解 答 構 成 】

見出し	切り口	内 容
1. はじめに	交通事故発生状況	ピークより半減したものの 8千人前後の死者
2. 近年の交通事故 の特徴と課題	交通事故の特徴	特定箇所への集中、高齢 者・歩行者・自転車の事故
	特徴を踏まえた課題	同上に対する対策が必要
3. 今後の事故対策	AHSの整備	危険警告、運転補助
	コミュニティーゾ ーンの設置	コミュニティー道路・ハン プの設置、歩行者ITVの導入
	住民参加による対応	住民からの情報収集
	ITVの設置	事故多発箇所へのITV設置
	ASVの開発・普及	自動車の高知能化
4. おわりに	行政各所との連携	規制、取締り、救急体制の 確立
	安全対策、景観へ の配慮	今後の道路計画・設計の方 向性

【 コ メ ン ト 】

近年の交通事故の現状や課題がうまく捉えられている。また、AHS等、IT活用をはじめとする多様な対策が述べられており、高く評価できる。

技術士第二次試験 記述問題 解答例

選択科目	必須科目	問題分類	環境保全
------	------	------	------

(/ 3)

1. はじめに												
我が国の交通事故死者数は、約8千人となり、ピーク時に比べて半減したものの、事故件数は90万件、負傷者数は100万人で、依然厳しい状況が続いている。												
このため、従来の対策や施策だけでなく、新しい多面的なアプローチが必要となってきた。												
以下本論では、近年の交通事故の特徴と課題を述べるとともに、今後の交通安全対策のあり方について新しい多面的アプローチの観点で記述する。												
2. 近年の交通事故の特徴と課題												
(1) 近年の交通事故の特徴												
① 特定の箇所への事故集中												
幹線道路においては、その道路延長の約6%の区間に事故の約50%が集中している。												
② 高齢者死者数の増加												
死者数はピークに対して半減しているものの、65歳以上の高齢者の死者数は増加している。(全体の4割)												
③ 歩行中・自転車乗用中の死者数の増加												
歩行中・自転車乗用中の死者数が、全死者数の約4割を占めている。												
(2) 交通事故を減少するための課題												
前述したの特徴から、次に示すような課題に対処していかなければならない。												
① 事故多発地点の安全対策												
② 高齢者の安全対策												

